

ことう うべの里 厚東

ゆるトレッキングエリア



～たくさんの史跡をスパイスに～

宇部「うべ」という地名の由来の一つで、「むべ」の実が今でも収穫でき食べられる。



北西の隣(万倉)
温浴施設
「くすくすの湯」などが有る。



元気が湧き上がる
迫力の厚東太鼓!

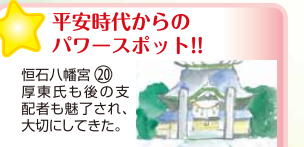
*厚東中華太鼓につながり全国大会へ



西隣(船木)
学びの森くすのき(新設) ㉑
付近は、かつての役所・代官所 等々の中心地で集めた米などを「千林尼石畳道」㉒を辿って、厚東川沿いの「棚井の塚」から船に積み、瀬戸内海に運び出した。



「青の洞門」が男性版なら、「千林尼石畳道」㉒は女性版で通行人が難儀をした道を、托鉢をして資金を作り解決したという偉業の遺跡。



平安時代からの
パワースポット!!
恒石八幡宮 ㉔
厚東氏も後の支配者も魅了され、大切にしてきた。



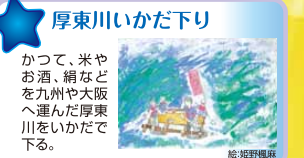
宝物が集中!!東隆寺 ㉒
国の指定重要文化財が2点、県が5点など、文化財が15点も。



鱈口の浄名寺 ㉓
文化財3点のうち、鱈口は銘文が浮き彫りにされた貴重な資料。



エリート校(寺)浄念寺 ㉕
碩学高徳な住職をたくさん育て、江戸時代中期には15の末寺を持っていた。更に、梵鐘が文化財!



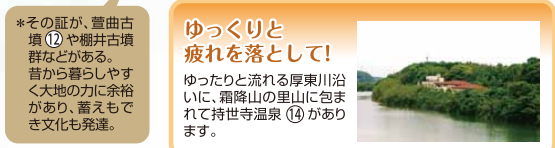
厚東川いかだ下り
かつて、米やお酒、絹などを九州や大阪へ運んだ厚東川をいかだで下る。

★厚東史跡 ★厚東トピックス

- 史跡名称
- ① 立熊「祇園社」
 - ② 山陽道跡
 - ③ 春日神社
 - ④ 関口「御手洗神社」
 - ⑤ 円生寺(浄土真宗)
 - ⑥ 厚東駅(宇部市で最初の鉄道駅)
 - ⑦ 妙見社
 - ⑧ 正覚寺(浄土真宗)
 - ⑨ 岡村「河内社」
 - ⑩ 中村「荒神社」

心も体もリフレッシュできる!

- 気候風土が穏やかで、服装等々あまり気にしなくてもいい
- 厚東川が運んできた肥沃な土地からの作物と、山の幸、川の幸に恵まれた土地
- なだらかな山に包まれ、南側が穏やかな瀬戸内海に開けていて、心にも体にも優しく充電、更に蓄電できる処



ゆっくりと
疲れを落として!
ゆったりと流れる厚東川沿いに、霜降山の里山に包まれて持世寺温泉 ㉑が有ります。

- ⑪ 下岡神社
- ⑫ 萱曲(かやまがり)古墳
- ⑬ バス停「持世寺温泉入口」
- ⑭ 持世寺温泉
- ⑮ 持世寺「観音堂」
- ⑯ 持世寺跡
- ⑰ 温見「荒神社」
- ⑱ 五田ヶ瀬堰(御撫育用水取水口)
- ⑲ バス停「八幡宮」
- ⑳ 恒石八幡宮
- ㉑ 厚東護国神社
- ㉒ 東隆寺(臨済宗)
- ㉓ 浄名寺(浄土宗)
- ㉔ 御東館跡(厚東氏居館跡)
- ㉕ 浄念寺(浄土真宗)
- ㉖ 千林尼石畳道(市指定史跡)
- ㉗ 棚井下「天幡宮」
- ㉘ 棚井のヤマグワ(市指定天然記念物)
- ㉙ バス停「霜降山登山口」
- ㉚ 広瀬浄水場(宇部市ガス・水道局)
- ㉛ 御撫育(こぶいく)用水「昭和隧道」
- ㉜ 御撫育用水「辰ノ口探貫樋(隧道)」
- ㉝ 広瀬「大歳社」
- ㉞ 法輪寺(浄土真宗)
- ㉟ 正八幡宮
- ㊱ 諏訪社
- ㊲ 霜降城跡「中ノ城」
- ㊳ 霜降城跡「本城」
- ㊴ 霜降城跡「前城」
- ㊵ 霜降城跡「後城」

〈裏面にくわしく説明が…〉



篤姫も通った!
山陽道跡 ㉑
「殿様道」殿だけの「どんだけ道」

探して 姫シヤラ!



夏椿:姿麗の木が自生



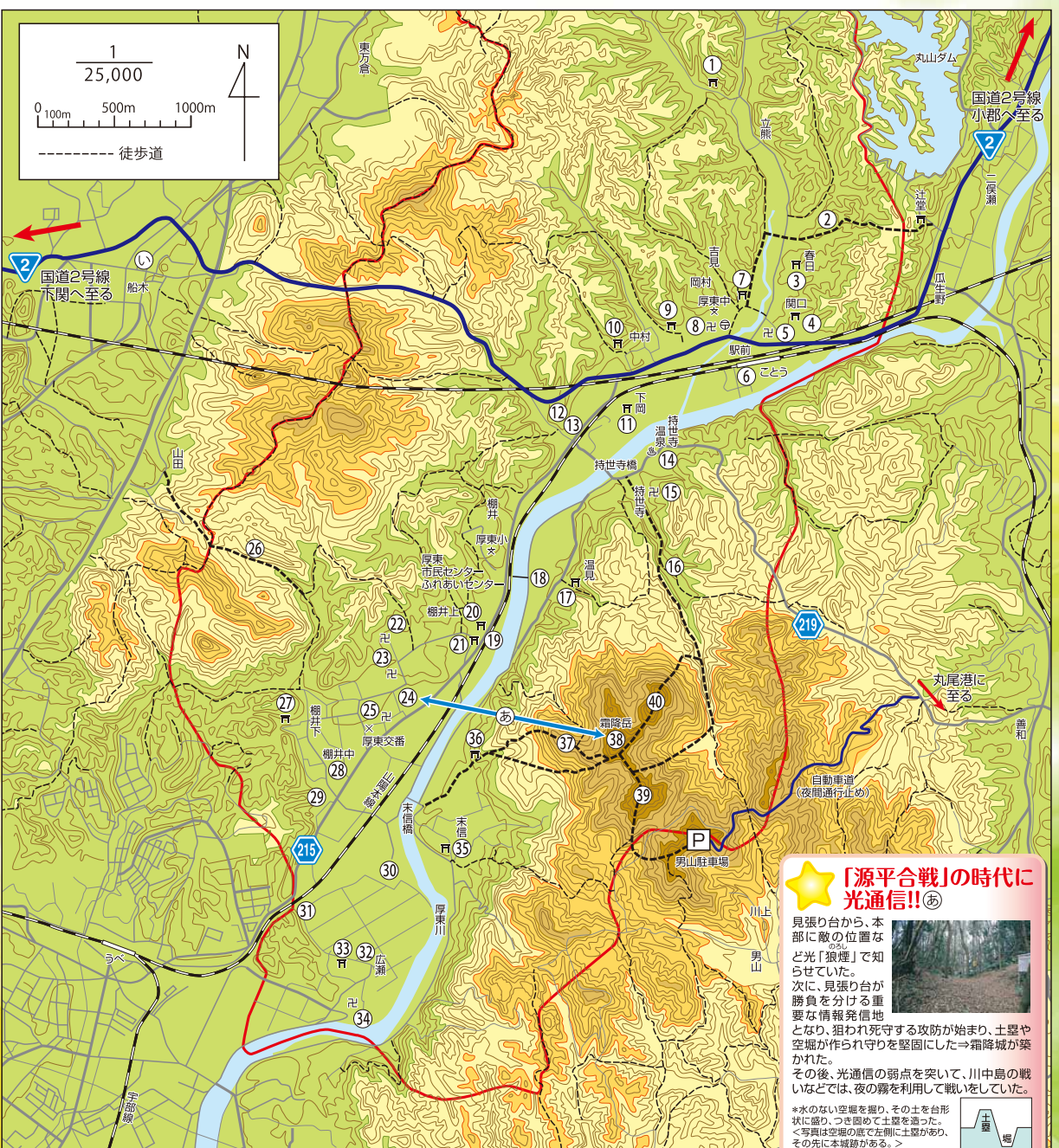
②西 ②東
霜降山海道遺跡
どんだけ道付近

北西の隣(二俣瀬) 旅人に優しい酒! 昔の街道に造り酒屋!

- ・地下150mからのおいしい水を使い
- ・かつて酒を船で送り出した厚東川沿いで
- ・今も、全国レベルの酒を造っている。



絵:磯崎啓泰



「源平合戦」の時代に 光通信!! ㉞

見張り台から、本部に敵の位置など光「狼煙」で知らせていた。次に、見張り台が勝負を分ける重要な情報発信地となり、狙われ死守する攻防が始まり、土壁や空堀が作られ守りを堅固にした→霜降城が築かれた。その後、光通信の弱点を突いて、川中島の戦いなどでは、夜の霧を利用して戦いをしていた。


*水のない空堀を掘り、その土を台形状に盛り、つき固めて土壁を造った。
<写真は空堀の底で左側に土壁があり、その先に本城跡がある。>



*大部分「厚東史跡案内地図」(厚東郷土史研究会)をつかかせていただきました。詳しくはそちらをご覧ください。

史跡の説明

～たくさんのスパイス～





	史跡名称 由緒などの概説
---	------------------------



うべの里 厚東

ゆるトレッキングエリア



- 1 立熊「祇園社」**
 祭神は素戔鳴尊で立熊地区の氏神社。昔は現在の南西山麓にあったが、明治26年この地に移された。創建は江戸時代の初期といわれている。(氏神:土地や一族の守り神)
- 2 山陽道跡**
 古代は山陽道、藩政時代は山陽街道、近代になって山陽国道と改称された。地元では昔から「どんだけ道」(殿だけの道)といっている。この道は古道のたすまいを遺す(愉しめる)貴重な道路史跡である。(県道の宇部美祿線わきに案内標柱がある。)
- 3 春日神社**
 祭神は春日四郎明神で、春日地区の氏神社。江戸時代の初期に萩の春日神社から勧請したと伝えられている。「春日」という地名はこの神社があるためにつけられた。(勧請:神仏の分霊を別の場所に移して祀る。)
- 4 関口「御手洗神社」**
 祭神は五男三女神(素戔鳴尊の8人の子)で関口地区の氏神社。創建はさだかではないが、江戸時代の中頃頃といわれている。
- 5 円生寺**
 浄土真宗円生寺は明治6年、持世寺にあった西生寺と関口の西円寺が合併して、開元山円生寺となった。西生寺は厚東氏の建立した名刹持世寺ゆかりの寺として唯一存続していた寺であった。このため円生寺の存在は平安時代の領主、厚東氏ゆかりの寺として歴史的意義がある。(名刹:名高い寺)
- 6 厚東駅**
 明治33年山陽鉄道船木駅として開業し、大正5年国鉄厚東駅と改名した。宇部市では最古の鉄道駅で、明治末頃の駅前には馬車70台、人力車20台が常駐し、旅館、銀行、商店が建ち並び近郷の陸上輸送の拠点として賑わっていた。(現JR山陽本線厚東駅、50m北側に国道2号線が並行)
- 7 妙見社**
 明治44年、3人の妙見信者が厚狭妙見社の分霊を勧請して祠を建て妙見菩薩を祀った。この地は景勝の地で境内は公園となり、戦前は祭礼行事などで賑わっていた。
- 8 正覚寺**
 寛正年間(1460年頃)下関の片河町に真言宗として創建され、後に浄土真宗に改宗された。その後関口に移され、更に宝暦元年(1751)現在の地に移され山号を「関口山」という。
- 9 岡村「河内社」**
 祭神は天之水命(あまのみくまり)神で、この神は流水の分配をつかさどる神。昔は瓦葺の社殿であったが、昭和31年、石祠に代えられた。岡村地区の人々が氏子となっている。
- 10 中村「荒神社」**
 祭神は三玉荒神で、これは昔の飯を炊くかまどの神様で、かげにいて人を守るといわれている中村地区の氏神社。地下上申(1742)には大蔵小宮と記載されている。
- 11 下岡神社**
 祭神は素戔鳴尊。創建は正応2年(1289)で明治初年まで疫神社と称していた。本社は旧吉見村をまとめる総鎮守で毎年5月の本祭には「おはぎ神事」という特有の神事を伝承する。氏子は下岡、中村、岡村、駅前、関口、春日の6自治会約230世帯。
- 12 豊曲古墳**
 この古墳は横穴式石室をもつ古墳後期の小円墳で、被葬者は6~7世紀頃のこの付近の村落共同体の首長とその家族であったと思われる。昔から暮らしやすい土地だったという証。

- 13 バス停「持世寺温泉入口」**
 ここから持世寺橋を経て温泉まで徒歩約8分。
- 14 持世寺温泉**
 泉質はアルカリ性ラジウム泉で、温泉旅館と泊不可の湯治湯がある。
- 15 持世寺「観音堂」**
 幕末ごろ廃寺となった持世寺ゆかりの観音堂を村人たちはこの地に移し、昭和46年新たに観音像を勧進し、持世寺伝来の観音像の焼けた頭部を胎内に納めた。
- 16 持世寺跡**
 八百余年の歴史を秘めて廃寺となった持世寺跡である。(この入口にある建物の軒下に「持世寺の歴史」という説明書が備付けてあり、自由に取れる。)
- 17 温見「荒神社」**
 祭神は三玉荒神で、温見地区の氏神社。元禄6年(1693)山口今山より勧請した。現在の社殿は昭和48年改築した。
- 18 五田ヶ瀬堰**
 御撫育用水路の取水口として寛政4年(1792)築造され、以後文政4年(1821)、昭和2年(1927)と改築され、現在の堰は昭和41年改造されたもの。
- 19 バス停「八幡宮」**
 恒石八幡宮下の「史跡散歩コース案内板」まで徒歩2分。
- 20 恒石八幡宮**
 厚東氏の建立した神社では最古の社で、以来厚東氏、大内氏、毛利氏の信奉のあつた神社である。(拝殿の右脇に「恒石八幡宮の歴史」が備付けてある。)
 
- 21 厚東護国神社**
 厚東小学校の奉安殿を昭和21年この地に移して、西南の役以来の厚東出身の戦死者の魂を祀る社で、戦後しばらくは米軍占領下のため厚東廟堂と称していた。(奉安殿:戦前・戦中に天皇と皇后の写真や教育勅語を納めた建物)
- 22 東隆寺**
 延元4年(1339)長門国守護の厚東武実が、厚東氏の(歴代の墓がある)菩提所として建立した臨済宗の寺院。(本堂左脇に「東隆寺の歴史」の説明文が備付けてあり、自由に取れる。)
 
- 23 浄名寺**
 厚東氏14代武実が祈願所として元応の頃(1318年頃)建立した真言宗の寺であったが、寛永の中頃(1624年頃)浄土宗に改宗した。境内墓地に市指定史跡厚東氏墓所がある。
 
- 24 御東館跡**
 厚東氏の居館跡で遺構はないが、現在もこの地は「宇部市大字棚井字御東」と地名として遺っている。厚東氏時代には、この館をとりまき城下町を形成していた。
- 25 浄念寺**
 文明14年(1482)吉見勝頼が創建した浄土真宗の寺院で、江戸時代の中期には碩学高德(立派な)の住職をたくさん育て、長門屈指の太寺で、15の末寺を有していた。(梵鐘が文化財指定に!)
 

- 26 千林尼石置道**
 慶応年間(1866年頃)、尼僧千林がみんなのために托鉢(寄付のお願い)して浄財を集め、悪路に石畳を敷いて道直しをした遺跡で、平成6年市の指定史跡となった。(石置道入口に案内板がある。浄財:慈善事業などに寄付する金銭)
 
- 27 棚井下「天幡宮」**
 棚井下地区の氏神社で、八幡宮と天満宮が合祀されていて、4月には天神様、9月には八幡様の例祭をしている。この社は昔、引地城の守護社であったという。
- 28 棚井のヤマグワ**
 樹齢約230年、樹高7.6m、胸高周囲1.6m。これは宇部市の地域における産業上、歴史上の遺存植物として貴重なもので、昭和57年市指定天然記念物となった。(絹(シルク)をつくる養蚕業が盛んだったなごり。)
- 29 バス停「霜降山登山口」**
 ここから末信橋を渡り霜降城跡へ。本城までバス停より徒歩約80分。(このバス停まではJR宇部駅から約2km)
- 30 広瀬浄水場**
 施設の見学ができる。分かりやすく小学校の見学コースにもなっている。②バス停より徒歩5分。駐車場もある。
- 31 御撫育用水「昭和隧道」**
 県営事業で昭和8年完工した御撫育用水の隧道(トンネル)
- 32 御撫育用水「辰ノ口隧道」**
 岩盤の広瀬半島を横断する隧道で、江戸時代の文政4年(1821)完工した。水門高1.9m、幅3.7m、全長約150mで、現在は使用されていない。
- 33 広瀬「大蔵社」**
 穀物の守護神として、また広瀬地区の氏神社として、江戸中期に建立された。明治44年恒石八幡宮の亀山神社に合祀されたが、広瀬の祭礼はこの社で行われている。(合祀:二つ以上の神を一つの神社に祀る。)
- 34 法輪寺**
 文明16年(1484)藤井順清が真宗の霊場として開き、寛政9年(1797)寺号を法輪寺と賜った。現住は20世敬道で光永山法輪寺と称する。
- 35 正八幡宮**
 厚東氏が山城国男山八幡宮より勧進して、厚東川東岸の各郷の鎮守として建立した。治承3年(1179)霜降城が築城されてからは、城の南陽の守護神ともなった。伝統行事として「南無是踊り」がある。これは末信地区の氏子で伝承されている。
 
- 36 諏訪社**
 祭神は諏訪大明神で、この社は昔 霜降城警備に当たる武士たちの守護神として建立されたという。現在は霜降城跡へ至る登山道の付け根にあたる上寄集落の19戸が氏子である。
- 37 霜降城跡**
 霜降城は治承3年(1179)厚東氏7代武光が築いた山城で、厚東氏の守りの要であったが、正平13年(1358)大内氏の来攻によって落城した。
- 38 城跡へ**
 城跡への登山は、末信口からは②バス停より徒歩で約1時間20分。持世寺口からは持世寺橋より約1時間。男山駐車場より約30分でそれぞれ本城に至る。各城跡には説明標柱がある。
- 39 山城**
 ③山城とは戦国時代以前の城であって、建造物はなく土壁や空堀が構築されていた。
- 40 城跡**
 (この項目は38と重複する内容のため省略)